

友

316号

2022年2月号

ゆくすえ遠く 見るを願わじ  
主よ、わが弱き足を守りて  
ひとあし またひとあし  
道をば示し給え

讃美歌 288番

## 教育を通じたアフリカの平和構築 若者の就業が貧困を救う

横関祐見子

アフリカ連合の首脳サミットが2月5、6日に開催され、安全と平和が討論されました。サヘル地域の国々の内戦や難民の問題はアフリカ諸国の抱える大きな課題です。

どうしたら紛争をとめて平和を保つことが出来るのでしょうか。若者に投資するのが大切であることを痛感しています。アフリカは最も人口が「若い」大陸です。高齢化の進む日本では45歳以上の人口が多く18歳以下の子どもが少なくて、人口の平均年齢は48歳です。この逆がアフリカ諸国で、10代の人口が圧倒的に多くて人口全体の平均年齢は21歳となっています。

人口の増加と経済の停滞は、若者が職に就く機会を少なくしています。そして、非合法的な活動や暴力に押し流される若者が出てきます。デモでタイヤを燃やし黒煙が上がる中、

むせないよう口を押えて、ぐぐもるような声で話すのは高校を中心した若者でした。

「平和が大切なのはわかる。でも、生活の術がないから、こういう活動をして日当をもららう。暴力はいけないとわかっている。でも、他にすることがないんだ」

他に仕事がなければ、自分や家族の日々の糧をえるために、暴力的な活動をする若者の数は増えます。2020年に始まったエチオピア北部の内戦でも少年兵がいることが指摘されています。暴力の根は深いです。内戦や紛争の根底にあるのは貧困や社会の不公正です。

教育を終えても職がない若者は失望します。若者が自分を誇りに思えるような仕事に就くことができたら、そして、農業、製造業、商業に参加する機会があれば、これが貧困層を

対象とした経済活動と平和構築への最も確実な道となるのです。就職できなければ小さくても起業できるような社会が求められます。エチオピア建築家協会が学校の被害をまとめました。その教訓を活かして「周辺の住民が自分の学校と思える施設造り」そして「開かれた学校」を提唱しています。援助機関や篤志家が寄付をして、建築の専門家に指導されながら住民が学校建設に参加して学校を再建することができます。学校は住民の誇りとなります。手当をもらうことができるし、建築作業を

する中で技術を学ぶこともできるでしょう。若者がもう一度入りなおして勉強できるような「開かれた学校」として、起業教育等も出来る教育が、時間はかかるとも真の平和を作つていくのではないかと思うのです。  
(東京月会会員)



年会の庭

## 窓

年が明けて1か月が過ぎようとしている。先日は雪が降り毎日寒い日が続いているが、ふと気づくと、このごろ日が長くなってきたようだ。

日の暮れるのが少しずつ遅くなっている。昼間の日差しも冬至のころに比べて、少し強くなつたと感じる。確かに季節が進んでいることを、今年はひとしお嬉しく思う。

去年の末に植木屋さんに来ても、なればまたどんどん葉が出て、すらい、二メートル近い大株に成長していった紫陽花を、思い切つて五〇センチくらいまでバツサリと切つ。花の咲く日を待つ。

(山田由香里)

# 日本年会総会を開催

21年11月20～21日、東京月会会堂で

話し合い1は、「会員減少の現状をどう打開するか」をテーマに、信仰面や運営面から、各月会の実情や配慮していることとの報告があり、参加者が意見や今後への提案などを行った。

## 大阪月会

ジェリリー・ヨコタ

現在、会員7名、会友4～5名が集っているが、会友の中には、クエーカーに強い関心を持つている人がおり、ジョージ・フォックス・ジャーナルの勉強会も会友からの提案で8月から始めた。

また、ユーチューブには、クエーカーに関する短い動画がたくさんあるので、修養会でそれらを翻訳して視聴し、話し合つた。一時期は日曜出勤の方がいたため土曜日に礼拝をもつたが、現在は全員が日曜日出席している。

クエーカーだけではなく他の宗教団体との関わりも大切にしている。求道しているという心を持つことを大切にしたい。

## 土浦月会

黒田秀郎

新しく出席する人は1年間に1人か2人だが、初めて出席した人には、みんなで話かけている。新しい人に

りしている。

DVDを観たり、仕事の話を聞いたりしている。

日曜学校に30人くらいの子どもたち（おもに養護施設の児童）が来ている。礼拝の前に、鯉淵さん、武田

## 会員減少の現状をどう打開するか

対して壁を作らないことが大切だとと思う。また、日ごろ出席できない人には、葉書を書いて消息を尋ねている。

月に1回、大霜牧師から聖書の話を聞いている。

土浦は過去、家族ぐるみで出席している会員がいた。成長し

たお子さんが来やすい場を作ることも良いことではないかと考え、NG会（虹の会）を開催し、食事を共にしている。年に何回かの開催ではあるが、気楽に参加してくれたらと思う。また、近所の方にも声かけをしている。

日曜日以外にも集まれる日を作ることは重要だと思う。敷居を下げる興味を持つてもらうために、



年会総会の会場出席者とオンライン出席者

これまで会場で集まりをもつていただブルクの方々が、コロナ禍で会堂使用を自粛している。こういったつながりが元通りになることを願つている。神様を求めている人は世の中にたくさんいるが、繋がっていないと感じる。

筑波大学の授業で教えている学生たちを誘いたいと考えているが、学生たちは宗教に興味がない。

私は現在の集会にとても満足しているし、皆さんから貴重な信仰の学

## 東京月会

山下美聰

以前は「ヤングフレンズの集い」ができたが、コロナ禍によって若い世代への働きかけが不可能になつた。

「ワイダーケエーカーの会」で桃井和馬さんが「学生にはコロナ禍でも自分に何ができるのか考えるべきだと伝えている」と話された。私も制限がある中でできることは何かと考え、過去の集いに参加したヤングアダルト（大学生や社会人）と平日夜などにZoomを使って集まり始めた。

仕事や家庭の役割や時間制限がある若い世代として、上の世代の会員の方々が、どのようにして信仰を持って生きてこられたか伺いたい。

東京以外の月会を見ていると、所属会員に年代のばらつき、幅があるので、月会同士の繋がりを増やし、年会として内部の繋がりを強くしていくとかと考へていています。

## 補足・意見

- ・礼拝出席者が、会員より会友が多い状況になつてきているので、第5日曜日に「会友懇談会」を実施し、さまざまなテーマで話し合っている。
- ・オンラインなら、いつでも集まれ

びを得ている。1本では倒れそうな木も、周囲に立つ木がお互いに助け合うことができるよう、私にとつて皆さんとの礼拝が大切である。

る。Zoom管理人は必要だが、時間を決めて定期的にオープンしていれば誰でも参加して楽しい時間を過ごせ、有効に使えるのではないか。

・オンライン礼拝は、遠隔地や高齢のため出席が難しい人には好ましいと感じるが、基本的には、会堂に来て礼拝に出席することが主であると感じる。

・東京月会は年会事務所も兼ねており、事務的な仕事が多い。。。現状に合うように事務内容を見直すべきだ・事務仕事は、リモートで分担できるようになつたことで、負担が減つたケースがある。

・一人でも多くの方にクエーカーについて伝えたいたいと思い、絵本などの教材を制作している。他の人に強要する気持ちはないが、みんなで手を携えてメッセージを伝えたいと思う。

・会員減少について、信仰の面からは全く心配していない。会員が何人になれば良いか、目安はあるのだろうか？フレンドの信仰は、1本の木が地中に根をはり光に向かって成長するよう一人ひとりが神様と直接つながっている。指導者を頂点に裾野を広げている組織とは違う。

## 水戸月会

水戸月会には会堂と幼稚園があり、無教会の人には日曜日に集まれる場

事務会において、2020年の活動状況および決算報告ならびに2021年の活動計画と予算を承認した。

加畑暁美

## 一般書簡

### 親愛なる世界の友へ

キリスト友会日本年会は、202

1年11月20～21日秋空の下、東京月会会堂において定期総会を開催した。

テーマは「時をよく用いなさい。今は悪い時代だからです。だから、愚かにならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。」（エフェソの信徒への手紙5章16～17節）と掲げた。新型コロナウイルスの感染者はかなり減つたとはいえ、まだ緊張が続く中、神の導きと恵みによつて全会員87名の内58名（会堂参加19名、Zoom参加17名、委任状22名を含む）が出席した。昨年にひき続きオンラインによって、地理的な隔たりを越え、各月会会員と顔を合わせて活発に意見交換を行うことができた。

今年度は役員改選が行われ、新しいスタートを切った。

話し合いⅠにおいて、「会員減少の現状をどう打開するか」を話し合つた。各月会から発題があつた。大阪

月会は新しい会友の発案により、ジョージ・フォックスジャーナルの勉強会を始め、貴重な気づきを得た。土浦

月会では集会を訪ねてくれる一人ひとりを大切にし、居場所の提供を心

掛けている。東京月会ではコロナ禍でヤングフレンズの活動ができない

中、ヤングアダルトとして今自分たちができるなどを模索している。水戸月会は、自分たちに与えられた現状を受け入れ、イエスに選ばれたものとして、今いる人たちが仲良くすることが大事であると意識するようになった。話し合う中で、私たち一人ひとりが神様とダイレクトにつながつておらず、会員減少にまどわされず、与えられている恵みに感謝しな

所があることを羨ましがられる。一方で、聖書の専門家がない。

クエーカーに限らず、世界的にクリスチヤンの会員が減っている。こ

ういった時代に私たち生きている。11月に6名が集まつた際、讃美歌を6、7曲歌つた。各自の好きな讃美歌や考えていることを知つて感激

した。

現状では、講演会やイベントの開催は無理だと考えている。定着するクエーカーの会員が減つて、世界的につく人がいないからだ。また、日曜以外

の集会はもつていらない。今はそのような時期であると考えている。

・東京も聖書の指導者はいないが、聖書やクエーカー学習会には会員が対応している。

### 補足・意見

・4、5年会堂に来られず、役割を

がら共に歩む希望を見出した。

久しぶりの再会を喜びながらの夕食の後、話し合いⅡでは、「フレンズセンターと東京月会会堂の現状と将来」をテーマに意見交換を行つた。

フレンズセンターと東京月会の会堂含む友会の所有地は一体のものとして、今後継続的に将来計画を検討することとした。

総会終了後、懇談会を開き友会に关心のある人たちの話を聞き、若い会員や会友との意見交換をした。

世界の友との繋がりを実感しながら、近隣諸国の問題と苦難に思いをはせ、私達の足元を真剣に見つめていきたい。神様が私達にくださつた時間を使つて、神様の御心にかなう働きができるよう努力したい。

2021年11月21日

キリスト友会日本年会  
代表書記 武田眞知子

## クエーカーの書棚から

### A Quaker Dairy in the Orient

WILLIAM C. ALLEN

くれる」と語っている。

東京の街の印象が書かれた興味深い部分を紹介してみる。

「東京では道のりが遠い。つまり、

行き来するのはもっぱら人力車だか

らだ。小柄な男が私たちを乗せ、滑

りやすくてぬかるんだ道を走り、丘

を登り下りする。丘を登るときは、

ほとんど体を半分に折るようにして

いる。彼らの下半身は見事なほど強

くて、驚かされる。仕事はきついの

に、彼らは笑顔を絶やさない。もう

少し急ぎたなら、東京市電に乗る

しかない。市電は大抵混み合い、中

流階級の人々や貧しい人々、年寄り

や若者、着物を着た学生、時には子

供をおぶった女性たちなど庶民でごつ

た返している。木製靴（下駄）を脱

いで裸足になり、座席に正座する人

を見かけることもある。床は砂まみ

れで濡れていることが多い

人が多い、快適

とは言い難い。だが、

個々の日本人

はきれい好きで生来

の礼儀正しさを身につけて

いているの

9月23日に日本に上陸し、携えて

リカ西海岸サンノゼ港を出航する。

時代は第一次世界大戦直前の19

14年。「極東を訪ねることこそ神

の意志だ」という思いで駆られた著

者は、周囲の懸念を押し切って、こ

の計画を実行すべく周囲と交渉を重

ねる。結果、さまざまな宗派の指導

者たちの注目を集め、国際平和活動

の一助となることを期待され、アメ

リカ西海岸サンノゼ港を出航する。



礼拝に向かう人々

山田由香里

東京月会の書棚にあつた一冊の洋書。ウイリアム・C・アレンという米人クエーカーによる東洋（日本・韓国・中国）への旅日誌だ。

山田由香里  
東京月会の書棚にあつた一冊の洋書。ウイリアム・C・アレンとい

が抱く不快感も大抵は和む。元気でにこやかな小男に引かれて、町中を自在に走れる人力車の方が私はずっと好きだが

洪沢男爵はある晩餐会で、日本の道徳が廃れていることを嘆き、定期的に人々を招いて聖書を読み、教えを乞うた、と書かれた下りを読み、と考えてしまつた。

東京から神戸へ向かい、その後、

下館、水戸、石岡を訪ねる。石岡で

は「鈴木」と名のる熱心な宣教師に

出会う。そこででの感想には、

「鈴木氏の自宅での礼拝はとても恵

み深いものだった。私たちの父なる

神もその中にいた。礼拝の時、沈黙

して神を待ちながら過ごす」という

クエーカーの習慣にみなじんでお

り、そこには堅苦しい振る舞いもあ

るが、神の存在と愛の感覚とが結び

ついていて、ともにおおむねバランス

が取れているようだ。日本人の氣

質は思いのほか沈黙の礼拝に合つて

いると見える」とある。

### 編集後記

## シルバー ウトル クエーカーセンター

オーストラリアのブンゲンにあるシルバーウトル自然の中での滞在型の研究施設です。植物の生態や精神的研究などのコースがあります。詳しくは下記をご覧ください。<https://www.silverwattl.e.org.au/>

紹介した部分はわずかで、何かとりとめないものになつてしまつたが、大正時代の日本の風物やそれを見た米人の気持ち、そして何よりも当時の日本人がキリスト教とどう関わつたかを知るには興味深い一冊かもれない。

編集	キリスト友会日本年会
発行	東京都港区三田4-8-19
TEL・FAX	03(3451)7002
博子・渡辺宣子	山田由香里・伊藤めぐみ・折田マヤ・加畑暁美・鯉淵